



【Press Release】

2022年8月1日

一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)

APEV デザインコンテスト実行委員会

<関係各位>

## 「国際学生“社会的EV”デザインコンテスト 2022」1次審査結果発表

APEVは2013年から2019年まで計4回、東京モーターショーの開催時期に合わせ2年毎に「国際学生EVデザインコンテスト」を実施して参りましたが、世界に蔓延しているCOVID-19への対応として、2021年は延期し2022年に大幅にリニューアルした第5回を開催しております。

1次審査が行われ、作品を提出した82チーム(日本12校24チーム、海外3か国55校58チーム)の中から通過チームが決定しましたので発表致します。

通過した18校26チームの内訳は、インド:8校8チーム、日本:10校18チームです。

### 通過チームリスト

Country	School name	Team name
India	Canara Engineering College	Shreya S Gangolli
India	FUTURE INSTITUTE OF ENGINEERING AND MANAGEMENT	WINGINEERS G7X
India	Indian Institute Of Technology, Jammu	Indian Sentai
India	Jyothy institute of technology bangalore	Solar Strikers
India	National Institute of Design, Transportation and Automobile	Shunya
India	National Institute of Technology, Silchar	Driztric
India	Vignana Bharathi Institute of Technology	ALPHA
India	VIT Bhopal University (SEEE)	Growth_Makers
Japan	Chiba Institute of Technology/千葉工業大学大学院	Costa
Japan	Chiba Institute of Technology/千葉工業大学大学院	FLAT
Japan	Chiba University/千葉大学	TARAKO&PEANUTS
Japan	HAL Nagoya	BANANA iCE COUNTY
Japan	HAL Nagoya	Nozoo
Japan	HAL Nagoya	Reuse Feelings
Japan	HAL Osaka	Ohki MARKii
Japan	HAL Osaka	SEVEN
Japan	HAL Tokyo	HALO!
Japan	HAL Tokyo	Everest
Japan	Nagaoka Institute of Design/長岡造形大学	NTC
Japan	Okayama Prefectural University/岡山県立大学	Okayama mobility club
Japan	Sojo University/崇城大学	AOBO-4
Japan	Tokyo Metropolitan University/東京都立大学	Ergolab1
Japan	Tokyo Metropolitan University/東京都立大学	Ergolab2
Japan	Tokyo Metropolitan University/東京都立大学	MINK
Japan	Tokyo Metropolitan University/東京都立大学 大学院	TMU-torapo-B
Japan	Tokyo Metropolitan University/東京都立大学 大学院	サカイ・モビリティ・システムズ

★1次審査を通過したチームの学生には8月9日(火)に行われる当コンテストの特徴であるワークショップ I に参加する権利が与えられ、2次審査へ向けて作品のブラッシュアップに励んで頂くこととなります。

今回のコンテストではテーマを「“社会デザインとEV”2040の提案」と題し期限を明示したテーマを設定致しました。我々は、EVの役割を単なる移動体の観点からではなく、人々の生活に必要なモビリティとしての在り方、そして人々の豊かな暮らしとは何かを考えるコンテストにすべきだと結論付けました。

よって、コンテストの評価軸を以下のように変更しています。

[旧]「スタイリング(優先:デザインの完成度)+コンセプト(デザインの説明:ストーリー)」

[新]「2040年の社会デザイン(優先:課題発掘)+コンセプト(解決策)+デザイン(説明としてのビジュアル)」

環境問題や自然災害・移動の安全・エネルギーなど喫緊の課題及び、サービスを中心とした新しい社会システムの構築に関する「社会デザイン」を選びました。

## コンテスト概要+++++

◆ **名称:** 国際学生“社会的EV”デザインコンテスト2022

◆ **目的:** 社会デザインとEVの可能性の研究を通して、次世代を担う融合型人材の育成

◆ **体制**

◇ 主催: 一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)

◇ 後援: 環境省、経済産業省、国土交通省、公益社団法人 自動車技術会、  
東京大学大学院情報学環、東京都、一般社団法人 日本自動車工業会 (一部申請中 50音順)

◆ **協賛:**

【1次協賛】(50音順)

◇ カーデザインアカデミー(ブランド名)

◇ (株)ベネッセホールディングス

◇ CCCマーケティング(株)

◇ デル・テクノロジーズ(株)

◇ 日野自動車(株)

◇ 日本アイ・ビー・エム(株)

◇ MONET Technologies(株)

◇ (株)ワコム

【2次協賛】募集中(協賛パッケージは、事務局にお問い合わせください)

協賛金: ゴールド 500万円、シルバー 250万円、ブロンズ 100万円(+消費税)

◆ **組織:** EVデザインコンテスト実行委員会(APEV内組織)

◇ 委員長: 山下 敏男(APEV理事、INTERROBANG DESIGN 株式会社代表)

◇ 副委員長: 有馬 仁志(APEV理事、有馬マネジメントデザイン株式会社代表取締役社長、  
横浜スマートコミュニティ代表)

◇ サポーター: APEV会員・協賛等から公募する

◇ 事務局: 一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)

◆ 審査委員:

- ◇ 審査委員長: 藤原 洋: APEV 理事、株式会社ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長 CEO、株式会社インターネット総合研究所代表取締役
- ◇ 審査委員:(敬称略、50音順)
  - 安藤 忠雄: 建築家、東京大学特別栄誉教授
  - 井原 慶子: Future(株)CEO、カーレーサー、日産自動車(株)取締役
  - ジャン ファン: 広州自動車グループ デザイン担当副社長
  - 竹岡 圭: モータージャーナリスト、日本自動車ジャーナリスト協会 副会長
  - 松本 博子: 女子美術大学 理事 副学長 研究所長 芸術学部 デザイン・工芸学科 教授
  - パトリック ル ケモン: デザイナー、元ルノー デザイン担当副社長
  - 脇田 玲: アーティスト、慶應義塾大学 環境情報学部 教授
  - 田嶋 伸博: APEV 代表理事、(株)タジマモーターコーポレーション 代表取締役会長兼社長/CEO

◆ 賞金・賞品(申請中)

- ◇ 最優秀賞: 20万円+賞状
- ◇ 環境大臣賞: 10万円+賞状
- ◇ 経済産業大臣賞: 10万円+賞状
- ◇ 国土交通大臣賞: 10万円+賞状
- ◇ 協賛団体賞: 協賛団体から提供される物品等+賞状

◆ 全体日程(日程は予告なく変更される事があります)

- 2022年8月: 協賛二次募集〆切
- 2022年8月1日: 一次審査結果発表(今回)
- 2022年8月9日: ワークショップ I 開催
- 2022年9月5日: 二次作品提出締切
- 2022年9月21日: 二次審査結果発表
- 2022年10月9日: ワークショップ II 開催
- 2022年10月18日: 最終審査&表彰式及び APEV シンポジウム開催 \*
- \*東京モーターショー(2022年は開催せず)に代わり CEATEC2022 と連携を行う
- 2023年3月中旬: 報告会

+++++

【実行委員会連絡先】

一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)内  
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 情報学環・福武ホール  
TEL : 050-3375-4937 E-MAIL : contest@apev.jp